

# 知床の窓から見えるもの

2014年5月5日（月曜日）

提供：(有)知床ネイチャークルーズ



「札幌から羅臼へ」

札幌から引っ越してきた看護師です。

数年前、羅臼町の病院が医師不足・看護師不足で入院病棟が閉鎖になったのをテレビで見ました。看護師は、とても厳しい環境での労働を強いられますが、人の人生の最期に立ち会うことができる唯一の職業です。私はまだまだ看護師歴が長いとはいえませんが、僻地医療に興味がありましたので、そのニュースがとても気になっていました。

現在の医療は、過疎地に行くと医師や看護師が本当に不足しています。どこに行っても平等に医療が受けられるとはいいますが、治療を受けたくても受けられない人がいるという現実があります。

この羅臼という町は今でも看護師が不足しています。

知床羅臼は世界自然遺産の町で、海と山に囲まれて大自然があります。旅行ガイドに載っているようなそんな風景や光景が間近で見ることができます。

4月から羅臼での生活が始まりました。都会ではご近所さん付き合いが少なくなった世の中ですが、この町では初めて顔を合わせる私に「こんにちはー」など声を掛けてくれ、気さくに会話が始まることもあり、温かい羅臼の方々にキュンとしました。そして、ここでは、海の幸が四季折々で、新鮮なうちに食べることができます。

自然豊かで美味しい海の幸を食べられるこの町で一緒に働いてみませんか？今思うことは、思い切って羅臼に来てみて本当に良かったと思っています。